

11月11日 「中山晋平先生が千束小学校の前にお勤めされていた学校」

今日は、今日の午後、千束小学校にいらっしゃるお客さんについてお話しします。

長野県の中野市立延徳小学校の校長先生が、千束小学校にいらしゃいます。どうして、千束小学校にいらっしゃるのかというと、延徳小学校は、中山晋平先生が千束小学校の先生になる前にお勤めだった小学校だからです。同じく晋平先生がお勤めされていた千束小学校にいらしゃって、3階の晋平先生のお部屋をご覧になって勉強されたいということです。



晋平先生は、学校の先生の資格を取られた後、延徳小学校の先生になりました。晋平先生は2年生の担任をされていましたが、唱歌（今の音楽の授業）は全学年受け持つ、歌や音楽を教えるのが大好きな先生だったそうです。晋平先生のお宅から、延徳小学校まで、歩いて通った山道が今でも残っているそうです。下の地図は現在のルートで、歩いて30分以上かかりますが、山道を歩いての往復は、大変だったことでしょう。



その延徳小学校では、1年間お勤めでしたが、本格的に音楽の勉強をなされたいと考え、お辞めになって、東京音楽学校に入学されました。その後、音楽の先生として勤められたのが、千束小学校ということなのです。千束小学校では、10年間お勤めになり、千束の子供たちのために音楽を教えながら、作曲のお仕事もされていました。音楽の集いで歌う歌の中にも、晋平先生が千束小学校にお勤めされていた時に作曲した歌があります。先生の仕事と作曲の仕事、両方ともされるのは、すごいことですね。

それでも、両方の仕事をするのはとても大変なことで、音楽の仕事に専念されるため、千束小学校の先生をお辞めになりました。その後、晋平先生が65歳のとき、千束小学校の校歌の作曲をして下さり、今も私たちが大切に歌っています。実は、千束小学校の校歌を作曲された、今から72年前、65歳のとき、中山晋平先生はお亡くなりになります。ですので、千束小学校の校歌は、1770曲と言われている晋平先生の作品の中で、最後の方の作品ということになります。



さて、延徳小学校では、今でも晋平先生の歌を歌っているということです。大学の先生をお招きして、特別授業を行っている様子が、延徳小学校の facebook で紹介されていました。私たち千束小学校では、今週、音楽の集いで、たくさんの晋平先生の歌を、歌ったり聴いたりすることができます。

距離の離れている2つの学校ですが、晋平先生の音楽を通してつながっていると感じました。今週の金曜日と土曜日、15日と16日の「音楽の集い」楽しみにしています。みなさんも、晋平先生の作品を十分に味わってください。

中山晋平先生の年表(延徳小学校 千束小学校に関係すること)

先生の資格をとる勉強をする		
1904年	(17さい 120年前)	延徳小学校の先生になる
1905年	(18さい 119年前)	延徳小学校の先生をやめる
東京音楽学校(今の東京藝術大学)で音楽の勉強をする		
1912年	(25さい 112年前)	千束小学校の先生になる
1922年	(35さい 102年前)	千束小学校の先生をやめる
作曲・音楽の仕事に専念する		
1952年	(65さい 72年前)	千束小学校 校歌を作曲
1952年	(65さい 72年前)	お亡くなりになる
2024年	今年	千束小学校119周年

中山晋平 先生

